

2011年10月24日

会員・賛助会員 各位

協同金融研究会
事務局長 小島 正之

第102回定例研究会開催のお知らせ

東日本大震災の発生から既に7ヶ月余を経ましたが、被災地の状況は未だ課題山積というのが現状のようです。過去2回の定例研究会では被災地での被害の状況と復旧・復興に向けた取り組み、また自治体における取り組みの課題などについてご報告をいただき、意見交換を行ってきました。

政権も野田内閣へと変わり、復興に向けた具体的な取り組みが期待されますが、欧米における金融・財政不安や経済不安はより深刻の度を増しており、日本の経済も円高のもとで先行きに大きな不安を抱えているのが現状だと思います。野田政権の打ち出している社会保障や年金改革と増税、対外的にはTPPへの参加など、勤労者や中小企業者、農林漁業者をはじめとした多くの国民の生活に具体的にどのような影響が出るのか、被災地の復興の課題と併せて心配の種は尽きません。

今回の研究会では、中央大学の高田太久吉先生に、欧州の金融危機の現状と背景、それが日本に及ぼす影響についてご報告いただき、参加者の皆さんと議論を深めていきたいと思っております。

皆様の積極的なご参加とご討議をいただきたく、ご案内申し上げます。

記

1. 開催日：2011年11月24日（木）午後6時30分～8時30分
2. テーマ：欧州の金融危機と日本への影響（仮題）
3. 報告者：高田 太久吉 氏（中央大学 教授）
4. 会場：主婦会館プラザエフ5階会議室（JR四ツ谷駅麹町口下車徒歩約1分）
5. 参加費：1人1,000円
6. 申込：下記申込書によりFAXまたはe-mailで、11月18日（金）までに、事務局にお申し込みください。

協同金融研究会 事務局（担当：笹野、小島）

【FAX】03-3262-2260 【e-mail】sasanotn@nifty.com

第103回定例研究会 参加申込書 2011年 月 日
氏 名
組織名・部署
他に参加者があればご記入ください